

【学習の目標と学習方法】

- ・自然の事物・現象に進んでかかわる態度を育てる。
- ・目的意識を持って観察や実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎を育てる。
- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<b>授業について・生徒のみなさんに</b> * 授業開始前には、持物をそろえ、集中できるよう心の準備をしましょう。 * 授業は教科書を中心に進めます。資料集(理科便覧)なども参考資料として使いましょう。 * 実験や観察を通して、自然の法則性などを見出していきます。 * 自ら考えて答えを導き出す過程を大切にしましょう。 * 意見を出し合うことで、ともに理解を深めることができます。考えや疑問を積極的に発信しましょう。 * 疑問に思った箇所は、その日のうちに質問などして解決しましょう。(休憩時間や放課後の質問、大歓迎です。)	<b>家庭学習について</b> * 宿題は必ずやりましょう。 * その日の授業で使用したノート、プリントの見返しをしましょう。わからなかった点を解決し、さらに知りたいことなどを調べてみましょう。見返してもわからない内容は、先生に質問してください。 * ワークを使用し、授業で学習した箇所の問題を解いて、復習をしましょう。 ・試験前はこのように取り組もう * 実験や観察で、どのような手順で実験を行い、どんな結果が出て、どのように考察できたかをまとめましょう。 * 教科書やノートを使って、語句や法則を復習しましょう。 * ワーク等をもう一度解いてみましょう。特に、1回目に間違えた箇所は見直しをしましょう。	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	
		評価観点	自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとしている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識を持って観察・実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現できる。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けることができる。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
		評価資料	・授業での様子 ・実験や観察における活動状況 ・ノートの記載内容 ・課題の提出状況とその内容 ・自己評価や相互評価 など	・実験、観察における考察 ・授業での発言内容 ・レポートの内容・表現 ・各テストの思考・表現に関する設問への答案内容 など	・実験への取り組み姿勢 ・実験の基本的な操作の習得 ・実験報告、観察記録 ・各テストの技能に関する設問への答案内容	・レポートの内容 ・各テストの知識・理解に関する設問への答案内容 ・授業での発言内容 など

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105時間
	1、植物の世界(28) 花のつくりとはたらき 葉、茎、根のつくりとはたらき 植物の分類	2、身のまわりの物質(26) 身の回りの物質とその性質 気体の性質・水溶液の性質 物質の姿と状態変化	3、身のまわりの現象(28) 光の世界 音の世界 力の世界	4、大地の変化(23) 火をふく大地 動き続ける大地 地層から読み取る大地の変化									
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	1、化学変化と原子・分子 物質の成り立ち、いろいろな化学変化、 化学変化と質量、化学変化と熱 (39)	2、動物の生活と生物の進化 細胞のつくりとはたらき、生命を維持するはたらき、 行動のしくみ、分類、進化 (35)	4、気象のしくみと天気の変化 気象観測、水蒸気の変化、前線と天気、 日本の気象 (31)	3、電流とその利用 電流と回路、静電気と電子、 電流と磁界 (35)									
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	2. 生命の連続性(22) 生物の成長と生殖・遺伝の規則性と遺伝子	3. 運動とエネルギー(35) 物体のいろいろな運動・力の規則性・エネルギーと仕事	5. 地球と私たちの未来のために(26) 自然の中の生物・自然環境の調査と保全・自然の恵みと災害・科学技術と人間・持続可能な社会をつくるために										
	1. 化学変化とイオン(36) 水溶液とイオン・化学変化と電池・酸、アルカリとイオン	4. 地球と宇宙(21) 宇宙の広がり・地球の運動と天体の動き・月と惑星の見え方											